

千葉大学教育 GP 「グローバルエイジング時代の地域包括医療ケアを支える先導的薬剤師育成プログラムの開発ー世界へ発信できる教育モデルの開発を目指した取組ー」

平成 29 年 8 月 4 日と 7 日に集中講義(座学)と e-ラーニングを行いました。

集中講義では、心不全の病態、診断、検査、最新の治療法などについて講義を行いました(講師:高野 博之教授)。また、超高齢社会において増加が予測される心不全患者を在宅でどのように治療していくか学んでもらいました。特に薬剤師の役割について理解してもらい、在宅医療現場で活躍できるような薬剤師を目指すために何が必要か話し合いました。



e-ラーニングでは e-PDE*を用いて、在宅患者ケアに必要な症例解析・問題解決演習を行いました。学生同士で一緒に考えながら進めることで、まだ専門的な知識がない低学年でも十分学習することができました。不明な点は自ら調べ解決するという学習姿勢も身につけることができました。複数の症例が用意されているため、今後も学生たちで積極的に演習を進めてもらう予定です。

*e-PDE (e-Pharmaceutical Decision Exercise) とは、患者対話型アウトプット訓練シミュレーションの e-ラーニングシステムのことです。本システムは、症例を教員が自由に作成でき、学生が薬剤管理計画を立て患者にインタビューした際の回答をあらかじめ設定することができます。知識を確認するだけの e-ラーニングとは異なり、患者と対話しアウトプット訓練を行うことでより効果的なアクティブ・ラーニングが可能となります。

